

宮古西中学校の林業体験学習の取組支援について

1 はじめに

当林務室では、毎年宮古市立西中学校からの依頼により、林業体験学習の実施を支援しています。今年は、いわて森の達人の^{たからよしお}寶由夫さんと指導林家の^{さいとうまこと}齋藤眞琴さんのご協力のもと、7月1日に実施しましたので、その概要を報告します。

2 林業体験学習の内容

宮古西中学校では、地域の1次産業に対する理解を深めるため、1年生を対象に、農業、漁業、果樹園、林業の4業種に分かれて産業体験学習を実施しています。

今年の林業体験学習には、男子15名、女子1名、計16名の生徒が参加しました。

当日は、生徒を8名毎の2班に分け、齋藤さ

んの指導によるスギの間伐作業と、寶さんの指導による枝打ち作業を交互に体験しました。

間伐作業では、生徒は、事前に決めていた方向に正確に木を倒すため、ロープと滑車を用いた補助作業を行いました。（写真1）

その後、齋藤さんから伐倒作業のポイントについて、倒した木の切り口を見ながら分かりやすく説明していただきました。（写真2）

枝打ち作業では、寶さんから柄の長い枝打ち用鋸を使った作業の説明を受けた後、各自林に入って作業を行いました。最初は、ぎこちない様子でしたが、コツを掴むと目を輝かせ、汗をかきながら次々と枝を落としていました。（写真3）

3 おわりに

今回の体験学習に参加した生徒からは、「今まで知らなかったことを多く知ることができた」や、「林業は、自分の代で結果がでなくても、未来のために働いているという姿勢に心を打たれた」などの感想が寄せられました。

林務室では、今後も小中学生などへの林業体験学習や森林学習会などの支援を通して、森林や林業の魅力のPR活動を続けていきたいと考えています。



写真1 間伐でのロープ引き作業



写真2 間伐のポイント説明



写真3 枝打ち作業